

令和4年度高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業入門講座 支え合いを広げる地域づくりフォーラム 実施報告（HP版）

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢社会の現状や高齢者の生きがいづくりや生活支援活動の必要性、地域住民が主体となる日常生活の様々な支え合い活動について学びました！会場のほかオンライン配信も併用して開催。

講演①「住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために今必要なこと」では、服部真治氏（（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構政策推進部副部長兼研究部主席研究員）より、人生100年時代、伸びる老後期間に対し介護分野の人手不足や国市町村のひっ迫する財政状況から健康寿命の延伸が必要であること、介護予防・フレイル予防のため「社会的なつながり」「地域の力」「活動量」が重要なこと、助け合いやボランティア、地域活動等の社会参加が効果的であることを、わかりやすくお話しいただきました。講演②「With コロナでも生きがいと助け合いを育む地域づくり」では、高橋由和氏（NPO 法人きらりよしじまネットワーク事務局長）より、吉島地区で行われている先進的で多岐に渡る取り組み事例から、時間をじっくりかけて人を巻き込み育て、魅力ある創生と共生の地域づくりを進めていくべきことや、アフターコロナの時代に SNS やシェア、寄付、5G 等広がりがある可能性のあること等をお話しいただきました。質疑応答も活発に行われ、地域共生社会に向けての様々なヒントやアドバイスをいただきました。



講演①服部氏



講演②高橋氏



【村山会場】



【庄内会場】

【村山会場】

日時：6月11日（土）13時～16時20分
会場：遊学館（山形市内）・オンライン Zoom
参加：80名（オンライン参加47名）

【庄内会場】

日時：6月12日（日）13時～16時20分
会場：子育て交流施設テオトル（三川町内）
参加：24名

- ***** 参加者VOICE *****
- ・これからの自分の人生にも地域社会で生きていく上でも大変ためになるヒントをいただいた。
 - ・地域の現状と課題を再確認し、地域づくり組織の必要性を感じました。活動の力にしたい。
 - ・人生100年時代「住み慣れた地域で元気に暮らせるよう今必要なこと」様々な統計・データ・数値を踏まえ、何が必要なのか明確にすることができました。
 - ・自分たちにできることで、良い方向に進むように頑張っていきたい。
 - ・地域づくりの進め方の視野、選択肢の幅が広がりました。※本事業は県の委託を受け実施しました。